

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス つくしんぼ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業向け自己評価表作成日	令和7年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者が療育を一緒に行うことで、保護者にとっても子どもに対する対応の仕方を直接学ぶ機会となる。また、子どもに関する質問や思いを直接伝えることができること。	利用時には保護者と話す機会をもち、支援の方法を分かりやすく伝えること。 保護者の質問や思いに対する返答は、できるだけその場でを行い、様々な角度からの返答を心掛けていること。	今後も、保護者と話ができる時間をできるだけ多く持てるようにしていく。 保護者の質問や思いに対して、子どもの発達状況等を踏まえながら、わかりやすく伝えていけるように努めていく。
2	配置基準より多く職員を配置することで、安全面や衛生面への意識をもち療育活動を行うことができたり、保護者からの質問や思いに対応することができること。	安全面や衛生面を考慮した環境設定と職員の配置を話し合っていること。 保護者の方から質問や思いを伝えてもらえるように、話のしやすい雰囲気を作り、何かあればすぐに対応できるように心がけている。	充実した療育が行えるように、今後も努めていく。 安全面や衛生面に関しても、職員がしっかりと意識を持って、取り組んでいく。
3	5領域を踏まえた児童発達支援計画（個別支援計画）の作成。	本人支援、家族支援、移行支援を充実させるために、保護者に聞き取りなどで協力していただいていること。 児童発達支援計画について、しっかりと保護者と話をしながら進めていること。	今後も、保護者の方としっかりと話ができる時間を取り、保護者や子どものニーズをくみ取れる力や子どもの発達状況や特性を理解し、行動の分析ができるようスキルアップに努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者評価が実施されていない。	保護者からの評価は行っているが、外部評価は実施できていないため、実施することが必要となってくる。	今後、取り入れていくよう計画していく。 時代に合わせた質の向上が必要だと考えており、今後も対応できるように努めていく。
2	保護者研修会や保護者茶話会は定期的に行っているが、ペアレント・トレーニングやきょうだい向けのイベントなどは行っていないこと。	ペアレント・トレーニングやきょうだい向けのイベントという形ではないが、保護者研修会や保護者同士での茶話会の機会を設けている。	今後も、保護者研修会や保護者同士での茶話会の機会を設けたり、子育てで困ったこと等には、随時相談対応していく。 兄弟児が同行した際は、活動スペースを作ったり、声をかける等、安心して過ごせるように心がけていきたい。
3	行事予定、連絡体制等の情報発信は行っているが、周知できていないことがある。	日程や連絡事項についての掲示、お知らせの配布を行っている。また、利用時に口頭でも伝え、周知できるようにしているが、しっかりと伝わっていないことがある。	掲示の仕方や場所を工夫したり、声をかけたり、配布のタイミングを考える等、周知できるようにしていく。

事業所名 児童デイサービス つくしんぼ

公表日 令和 7年 3月 1日

利用児童数 68人

回収数 55人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	49	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少し狭い気がする ・大人と一緒に過ごすには少し狭い、子どものみでは良いと思う ・一つ一つが狭い ・改善していただき、活動スペースが広がったと感じる 	活動内容によって、空間づくりを考えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	54	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが呼びやすい所に職員さんがいてくれて助かる ・常に目が届いていると感じ、安心 ・十分すぎる程配置してくださっている ・課題の時、困った時もすぐ対応して下さるし、遊びのスペースにも配置してくださっているので充分 	子どもたちや保護者のニーズに応えられるよう、職員の配置を整えていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても良く考えられていると思う ・遊びごとにスペースも区切られており、スペースに入るとすぐに玩具が机の上に並べられているのでわかりやすい環境になっている ・子どもたちは認識できていると思う ・子どもが地図を見ながら次のスケジュールに移動できるのでわかりやすいと思う 	使用する子どもたちの特性に合わせた生活空間を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	54	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもきれいで整頓されていると思う ・掃除もきちんとされており、使用した課題などにも消毒されているので良いと思う ・すみずみまできれいな所が利用するたびにすごいと思う 	これからも安全面や衛生面に気を付けて、楽しく過ごせる環境づくりを行ってまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51	4	0	0	・特性に応じた課題を用意してくれている ・ありがたいほどの支援を受けさせていただいている ・個々に合った課題を設定してもらっている	子どもたちの特性やニーズに合わせた支援ができるよう、アセスメントや保護者からの聞き取りなどを行なっていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50	3	0	2		令和7年2月5日に、呉福祉会のホームページに掲載しましたのでご覧ください。 支援プログラムの内容に合わせた支援の取り組みを行っていきます。 保護者に配布していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	52	2	0	1	・保護者視点で子どもの何が気になるか、どうなって欲しいかを聞いてくれ、それを踏まえた計画を立案、実行してくださるので助かると共に、子どもの成長がとても分かりやすい ・しっかり親からの思い等を汲み取って、計画を立ててくださっている ・困り事や悩みを計画に取り入れ、課題を作成してくださっている ・本人が困っている時など、すぐに対応していただいて安心 ・その子その子に応じたプログラムを作っただけで、子どものペースで苦手な事から出来る事へと心理的にも成長できている	子どもたちの特性を踏まえた上で、子どもたちと保護者のニーズを考慮した個別支援計画を作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	51	2	0	2		本人支援、家族支援、移行支援について、具体的でわかりやすい支援目標を子どもたちの特性や環境に合わせて作成していきます。
9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	53	2	0	0	・計画に沿った課題やアドバイスをしてくださっている	児童発達支援計画を軸に子どもたちのニーズや特性に合わせて支援を行っていきます。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	50	4	0	0(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃのローテーションやたまにみんなでやるプログラムが◎ ・定期的にプログラムの内容を変えて、いろいろなことを体験させていただいている ・事業所内で交流できている ・先生との課題は特に毎回異なる内容でその時に合ったものになっている ・クッキングがたのしかったとのこと ・絵本の読み聞かせもおもしろく工夫されていて、興味深く見ている様子だった ・同じことの繰り返しではなく、段階的に違う事への挑戦になっている 	子どもたちのニーズに合わせていろいろな活動を取り入れて、いろいろな体験ができるよう活動の内容を考えていき、保護者からの相談にも適宜対応するよう努めていきます
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	6	18	9	<ul style="list-style-type: none"> ・所属の認定こども園との交流や他地域での子どもと活動する機会はない 	並行通園の子どもたちを対象としているため、機会は設けていません
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	53	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を用いて丁寧に説明をしていただいた 	今後も丁寧に分かりやすい説明を心掛けていきます 令和7年2月5日に呉福祉会のホームページに支援プログラムを掲載いたしました 保護者に配布いたします
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	55	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親や子のニーズに沿った計画でそれぞれ1つずつ説明を受けた 	今後も丁寧に分かりやすい説明を心掛けていきます
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	52	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に相談に乗っていただき、わかりやすくアドバイスをくださること、定期的な研修や茶話会での意見交換がすごくタメになる ・適宜、相談に乗っていただき、研修会もとても学びが多く、親の方が成長させていた ・自宅でも実践に移しやすい、ここへ通ってよかったと思う ・コロナ以降、定期的に勉強会や茶話会の場を設けてくださっている ・先生との研修会や茶話会はいつも学びの場となっており、とてもいい機会となっている ・年に3回ほど保護者の研修会があるので情報を得る良い機会になっている 	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、年に3回ほど保護者研修会を行っています。 また、保護者からの相談にも個別で対応できるように努めていきます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	50	2	1	1(1)	・こちらも近況を伝える事で、子どもの状態を周知していただこうと思う	今後も子どもたちや保護者の困り事や悩みを相談しやすい環境づくりに努めていきます
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	4	1	1(1)	・話を聞いてもらえたり、アドバイスをいつも助かっています！ ・定期的に面談があるといいなと思う ・適宜、声を掛けていただいている ・ちょっとしたことで相談に乗って下さり、とても心強かった ・相談した時はいつもたくさんアドバイスをしてくれ、とても勉強になる ・毎回先生との勉強の後に説明があるのでわかりやすい ・少しの事でも聞いてもらえ有難い	子どもたちや保護者の困り事や悩みについて、適宜、相談・対応を行っていきます 定期的ではありませんが、随時、相談には対応してまいります
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	52	1	1	0(1)	・スモールステップで小さな事でもほめてもらえ、とても良いと思う	子どもたちや保護者の困り事や悩みに対して、子どもたちや保護者の立場になって支援を行うことを努めていきます
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	35	11	3	5(1)	・きょうだい向けのイベントはないが、保護者同士の交流として茶話会があるのがすごくよかった ・親同士の会はあったが、きょうだい向けのイベントは行われていなかったように思う ・保護者同士の交流はよくあり、勉強させてもらえる機会があり、ありがたい ・きょうだい同士の交流はないと思う ・年に3回ほど茶話会があるので保護者同士、相談などしやすい	年に3回ほど同じ時間のグループ内での茶話会を行っています きょうだい向けのイベントは開催しておりませんが、きょうだい児が同行した場合には、安心して過ごせるような工夫を考えていきます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
						<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだいの交流はないが、幼稚園などが休みの場合、やむを得ず事業所に連れていっても療育に集中できるようサポートしてもらえる ・自分の子どもにはきょうだいは居ないが、他の子どもさんの弟、妹さんが一緒に楽しくさせているのを見ると良いなと思う ・きょうだいへの支援については知らされていない 	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	51	1	1	1(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したいことがある時には対応してもらえていると思う ・その場ですぐに話を聞いてくれ、アドバイスをしてくれ、その後、課題にも取り入れてくれ、対応がとても速い ・小学校にむけての不安など相談によく応じて下さり、ありがたい ・相談をさせてもらうと次週には課題や勉強で取り入れたり、アドバイスを下さるので助かる ・上手くできない事を伝えた時には、手順を知らせるカード表を説明しながら渡してもらえ、大変助かっている 	子どもたちや保護者からの相談に対して、迅速で適切な対応ができるような環境づくりに努めています
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	2	1	1(1)		こちら側が伝えたい情報をメモなどをとりながらなどわかりやすい工夫をしています
非常時等の対応 21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	6	5	24(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS等ではないが、掲示物で予定を掲載している ・掲示物にて確認している ・事業所の掲示板にお知らせが掲示されているのは知っている、SNSなどはわからない ・発信されているかもしれないが、こちらの確認不足で見ていなかった 	定期的な発信はありませんが、呉福祉会のホームページにて自己評価や支援プログラムを配信しています 日頃の連絡事項は掲示板に掲示し、声掛けをするようにしています

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	49	3	1	0(2)		今後も個人情報の取り扱いには十分気をつけていきます
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	5	3	18 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練などの実施がないと思う ・感染症マニュアルは知っている ・緊急時や防犯は知らない ・災害訓練の様子は掲示してあったが、周知は直接されていない 	避難訓練に関しては、広支所の館内の訓練に職員が参加したり、事業所内での役割分担をシュミレーションするなどしています マニュアル等は下駄箱にある部屋の棚に提示しておりますのでご覧ください ご心配なことがありましたら、ご相談ください
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	3	6	23(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練をやったことがない ・そのタイミングで療育を受けていないので、わからない 	避難訓練に関しては、広支所の館内の訓練に職員が参加したり、事業所内での役割分担をシュミレーションするなどしています 避難場所の確認などを行いたいと思います
満足度 25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	2	1	6(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所や触らない物は写真などが貼ってあり配慮がある 	事業所内での安全点検やヒヤリハットの活用などを行ないながら、今後も安全で衛生的な支援を行っていきます
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	3	1	15(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が起こらない 	事故等が起こらないよう環境を整えていくと共に、発生した場合には速やかな連絡や状況の確認、説明を行っていきます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	54	0	0	0(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の楽しみになっている ・安心感を持っているかはわからないが、自分で中に入ろうとする ・いつも楽しく笑顔で通所している、先生たちのおかげです、ありがとうございます 	子どもたちの特性を踏まえた環境づくりや活動を提供し、安心感を持って事業所に通えるように、今後も努めていきます
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	53	1	0	0(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな状況でも本人は必ず靴を履いて家を出て車に乗る ・とても楽しみにしている（お気に入りの服でおしゃれしている） ・通所を楽しみにしており、遊びながら多くのことを楽しく学べている ・これまで3年半、1度だって休みたいという事はありませんでした、逆に行きたいと泣かれることはありました ・いつも喜んで通所している ・幼稚園より楽しみにしている ・楽しみにしているかは見られないが、嫌がるそぶりは見られない 	今後も楽しく通うことのできる事業所づくりをめざしていきます
29	事業所の支援に満足していますか。	52	2	0	0(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます、通所してから子どもだけでなく私が助けられている ・親の自分自身の方が成長させていただいている ・相談しやすい雰囲気もありがたい ・通わすことができ、本当によかった ・先生方には助けていただき、いろいろな援助してもらっている ・子どもへの対応について質問をすると常に迅速、的確にご回答いただき、とても助かっている、ありがとうございます 	子どもと保護者に適切な支援や対応をしていくとともに、今後も相談しやすい雰囲気や子どもたちや保護者のニーズに合わせた療育を提供できるように努めていきます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
						<ul style="list-style-type: none"> ・◎（本当は花丸） ・子どもにとって、つくしんぼに行くことはごほうびになっている、そして親も一緒に参加することにより成長も感じられ、また勉強にもなる ・困り事ができても大丈夫という安心感もハンパない、つくしんぼがなければ今の私達はありません ・上の子の時から5年間、いつもいろいろな支援、体験をさせていただき親子共々大変満足している、あと2か月で卒業という事で大変残念に思う ・たくさんのアドバイスを下さり、とても勉強になっている ・とても満足している、いつもありがとうございます ・いつも気にかけて下さり、感謝している ・気になることは、その時に答えて下さり、ありがたく通わせている ・発達支援のアイデアを教えていただいたり、困った時の対処法のアドバイスをさせていただいたり、とても有難い ・いつもありがとうございます ・小さな相談でも親身になって助言して下さりとても心強い 	

※（ ）は未記入数

事業所名		児童デイサービス つくしんぼ		公表日 令和 7年 3 月 1 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		療育室全体としては、活動に必要なスペースは確保できている。	活動内容によって、各スペースの大きさを工夫していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切な支援ができる職員体制をとっている。	今後も、基準に沿った職員体制がとれるように努めていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子ども達が自分で何をするのかわかって活動できるようにするという目的のもと、生活空間、活動内容を物理的・視覚的に構造化している。	今後も、子ども達にとってわかりやすい環境づくりに努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加え、感染症対策として、引き続き遊具や課題等への消毒もその都度行っている。	子ども達の発達段階や特性に応じた活動ができるように、構造化を見直していきながら、空間づくり、活動を考えていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの状況に合わせて、個別で過ごせるスペースは確保している。	子ども達からの要求が伝えられるよう、コミュニケーションの方法を教えていきたいと思う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員で具体的な取り組みを考え、結果について共有し、必要があれば更に改善することを繰り返している。	今後も、意見を出し合えるようにしていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所評価や意見をもとに話し合いを行い、業務改善につなげている。	今後も、意見を実直に受け止め、職員で協議し、業務改善を行っていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年、自己評価や希望、意見を施設長に提出している。必要な改善点は、リーダー会議や運営会議等で議題としてあげている。	しっかりと検討し、改善につなげていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は現在行っていない。	実施については、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		園内研修を行ったり、外部研修にも積極的に参加している。	今後も、自己研鑽を積み、専門性を高めていけるよう努力していきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援作成し、ホームページ、事業所内に掲示している。	新規利用の場合、支援プログラムを契約時に保護者に説明し、渡していく。利用継続の保護者には、今後配布を行う予定。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々の実態を把握するため、保護者からの聞き取り、独自のアセスメントシートにより、利用開始時にアセスメントを行っている。ニーズや変化があった時に、再アセスメントを行っている。利用児の実態と保護者のニーズを踏まえ、今何を大切に支援するのかを考え、支援計画を作成するようにしている。	今後も、保護者の方としっかりと話ができる時間をとり、保護者や子どものニーズをくみ取れる力や子どもの発達状況や特性を理解し、行動の分析ができるようスキルアップに努めていきたい。
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画の内容について、職員で協議している。	今後も、支援者や大人の思いだけでなく、利用児にとって、今何を大切に支援するのか、子どもにとっての本当のニーズは何かを考えられるように職員で話し合っていきたい。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員の共通理解のもと行われている。	今後も、情報の共有をしっかりとしていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルアセスメントは、他機関で行ったものを参考にしている。日々の子どもの行動からアセスメントを実施している。	子どもの実態を捉えられるよう、研鑽を積んでいく。
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援については、ガイドラインにある5領域の項目を意識し、具体的な目標設定を行っている。	今後は、家庭や地域の中でも取り組める視点をもって支援目標に組み込んでいけるよう、職員で協議を行っていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員で、年間計画、月案、日々のプログラムを協議し、共通認識をもてるよう、内容を表示し、職員で共有している。	色々なアイデアを出せる工夫をしながら行っていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の造形や活動、ミュージック・ケアやクッキング、ゲーム等、様々なプログラムを考え、一人一人に合った課題や遊びが提供できるよう工夫している。	今後も、遊びを通して子どもの発達を促していけるよう、遊具設定や活動の工夫を行っていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児の発達状況やニーズを踏まえて支援計画を作成している。1対1での学びの場の確保、ゲームや遊具遊び等の遊びを通して小集団での活動も取り入れるよう考えている。	子どもの発達状況に合わせ、遊びの中でやりとりの経験や設定場面での集団活動の機会をもてるように構造化の再アセスメントを行い、環境を整えていきたいと思う。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、利用児の目標や支援のポイントを確認し、職員の役割分担を決めている。	やりとりの力をつけていけるためにも、子ども達が色々な職員と関わることができるようにしていきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育終了後、記録を行うとともに、疑問に感じたことや気づいた点についてもすぐに報告し、話し合えるようにしている。	支援後だけでなく、気付いた時に声を出していき、その場で改善できることはしていきたいと思う。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育終了後、気づいたこと、保護者からの相談内容、次回行いたい課題の内容等記録している。関係機関とのやり取りも記録している。	その場になかった職員にも確実に情報が届くよう、メモを残し共有する。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎に保護者のニーズを聞き取り、見直している。保護者の相談・要望があった時は、随時計画を見直す等の対応をしている。	何か要望などがあった場合は、柔軟に対応していきたい。
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、担当者会議に参加。その後、全体で情報を共有している。その場になかった職員にもメモを残し共有している。	報告を行うとともに、職員に確実に情報が届くよう、メモを残し共有する。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と連携をしている。	今後も、様々な関係機関と連絡を取り合うことで、子ども、家族全体のサポートにつなげていきたいと思う。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者・利用児の在籍している園からの要請があれば、必要に応じて保護者の許可のもと、支援の共有等を行っている。その際、事業所にも出向いてもらい、具体的な支援のやり方をみてもらうこともある。	今後も随時対応していくとともに、相談支援専門員へ働きかけ、関係機関で方向性の確認の機会を持てるようにしていく。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて保護者の許可のもと情報共有等を行っている。	今後も随時対応していくとともに、大切な移行期でもあるという視点を持ち、相談支援専門員へ働きかけ、継続した支援が可能になるように心がけていく。
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	(31は、事業所のみ回答)				
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		事業所の中で外部講師によるスーパーバイズの機会がある。また、他の事業所の取り組みを職員に伝達している。	新しい知識を学び、療育内容を見直していくためにも、より積極的に参加していきたいと思う。 今後は、もっと他の事業所とのつながりを広げ、他の事業所の取り組みを学ぶことで、更なる療育内容の向上を図りたい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域の幼稚園・保育所との並行通園をしている利用児が多く、交流する機会は基本的に設けていない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の療育の中で、子どもの活動時の様子や課題、成長が見られたこと等、話をする機会を持つようにしている。内容を記録し、職員で共有できるようにしている。	職員みんなで、共通理解を持てるよう、しっかりと情報を共有していきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングの形はとっていないが、子どもの特性や見立て、家庭での対応について伝えるようにしている。保護者研修会を行い、発達や特性の理解を深めたり、行動への対応について学ぶ機会を設けている。研修会や講演会の案内を掲示している。	今後も、色々なことを伝えたり、話し合える機会をもっていきたい。講演会や研修会などの情報も伝えていきたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、文書で説明を行っている。改訂時には、文書と掲示等により通知している。	プログラムの目的等、今後丁寧に伝えていきたい。
36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者のニーズや思い、子どもの実態について、しっかりと話を聞くようにしている。	支援者や大人の思いが優先されないよう、利用児にとって、今何を大切に支援するのか、子どもにとっての本当のニーズは何かを考えられるように職員で話し合っていきたい。
37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画を見せながら、説明をしている。	専門用語を使わず、より分かりやすい伝え方ができるように努めていきたい。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の方に積極的に話しかける等、話をしやすい雰囲気を作るよう心がけている。利用日以外でも相談対応を行っている。すぐに回答できない場合は、事業所内で相談し、できる限り早く保護者の悩みに対応できるよう努めている。	今後も、職員の専門性の向上を図っていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	○		年に3回、保護者同士の交流がはかれるように茶話会を開催している。今後も継続していきたい。きょうだい同士の交流の機会は持っていないが、きょうだい児が同行した場合には、職員が声をかけるようにしている。	今後も交流の機会を設けたり、声をかけていきたいと思う。
	40	○		迅速に対応するよう、心がけている。	迅速に対応していきます。
	41	○		積極的な配信はしていないが、日程や連絡事項についての掲示、お知らせの配布を行っている。また、利用時に口頭でも伝え、周知できるようにしている。	周知できていないこともあるため、工夫・改善していく必要がある。
	42	○		守秘義務についても職員研修等で周知している。資料等は鍵付きの棚に保管している。	今後もしっかりと取り組んでいきたい。
	43	○		コミュニケーションブックや視覚情報を活用したコミュニケーションを図るようにしている。	今後も、相手の方に配慮した支援を行ってきたい。
	44	○		市民センターで開催される催しに参加。事業所の活動を掲示し、子どもから大人まで楽しんでもらえるような活動を提供した。	今後も継続していきたい。
非常時等の対応	45	○		マニュアルは掲示しており、年3回程度、広市民センター全体での避難訓練に参加している。訓練参加後、訓練内容を掲示している。	今後は、事業所内で避難経路や場所の確認、訓練も検討していきたい。
	46	○		策定したBCPIは、事業所内に掲示。大規模地震に備えた対応を現在検討中。災害時に慌てないため、職員の役割分担、連絡体制等は事務所に掲示し、それに基づいた対応を練習している。	今後は、事業所内で保護者や利用児を交えた避難経路や場所の確認、訓練も検討していきたい。
	47	○		契約時に確認。一覧にまとめ、職員全員で共有している。	状況の変化に伴う必要な対応について、定期的に確認できるように案内をする。
	48	○		アレルギーのある子どもには指示書を提出してもらっている。アレルギー表を作成して、誤飲食のないよう気をつけている。おやつ原材料等を保護者に確認の上、提供している。	今後も、安全管理に気をつけていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事故等が起きた場合の対応や安全に関する研修を実施し、安全管理に務めている。建物点検、遊具点検を定期的に行い、日々、危険な箇所がないかを確認するようにしている。	今後も、安全管理に気をつけていきたい。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事故や災害が起きた場合の対応について、契約時に安全に関して説明している。	利用児、保護者等が、安心して利用してもらえるようにしていきたい。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった時には、すぐに報告書を作成し、職員間で共有し、再発防止を図っている。	今後も、安全管理に気をつけていきたい。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回、園全体で、全職員を対象に研修を行っている。外部の虐待研修や外部研修等に参加した際には、事業所内で報告をしたり、資料を回覧している。	利用児、保護者等が、安心して利用してもらえるようにしていきたい。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束についての共有意識は、職員研修で行っている。危険が伴う場面では、瞬間的に動きを止めることはあり、状況を保護者に報告している。	利用児、保護者等が、安心して利用してもらえるようにしていきたい。